

[illegible]

Twitter

Q

- ロジスティクスシステム
- ファクトリーオートメーション
- 半導体工場FAシステム
- 工作機械
- シートメタル加工機
- 繊維機械
- デジタル複合機／情報機器
- センサ／制御機器

全国女子駅伝に 熱い声援を！

「全国女子駅伝」を経験した選手の中からオリンピック女子マラソンのメダリストが生まれるなど、いまや女子駅伝は全国から注目される大会となっています。今大会では、どんなドラマが生まれるのでしょうか。

女子駅伝から世界の舞台へ



駅伝インタビュー 女子駅伝からオリンピックへ

ロンドンオリンピック (2012年) 女子マラソン代表 木崎 良子さん

初めての女子駅伝 (第25回大会・2007年) で京都チームのアンカーを走り優勝。以来、出身地の京都と所属企業のある大阪のいずれかで連続出場した8回のうち、京都を5回、大阪を1回、優勝へと導きました。大阪チームで優勝した第30回大会で区間賞を獲得した後、ロンドンオリンピックに出場。今も走り続ける木崎さんにその原動力をおたずねしました。

—小さいときから走ることに興味があったんですか？

小学校の時はバレーボール、そのあとはバスケットでしたね。箱根駅伝の選手だった父の影響もあり、兄も姉も私も、みんな走ることが好きでした。高校から本格的に陸上を始め、テレビで女子駅伝を見て「いつか京都のユニフォームを着て走りたいな」と憧れていました。

—大学の時に初めて出場されたのですか。

4年生のとき初めて女子駅伝に出場し、アンカーを走りました。駅伝は応援がすごいんです。沿道と選手が近くて、声援から元気をいっぱいもらいました。地元で走るというプレッシャーもありましたが、皆さんに喜んでもらえるのがうれしくて、「負けられない!」という気持ちで頑張りました。

—8年間、毎年出場されました。女子駅伝の魅力は何でしょう？

私は京都と大阪から出場しました。どちらもチーム力が素晴らしいのです。下級生の時は先輩がいて安心していましたが、上の立場になると、中高生選手の見本にならなくては、と緊張しました。チームの中だけでなく、多くの人に支えてもらって成り立つ競技ですので、いろいろな人とのつながりを大切に、日常生活でも感謝の気持ちを忘れずにいました。走るだけでなく、人として成長し豊かな人間関係も築けるのが女子駅伝の魅力です。

—2012年のロンドンオリンピックはどうでしたか。

出場が決まったときから、心配で心配で合宿時から眠れませんでした。オリンピックで走ることを楽しめないと気づき、気持ちを切り換えて臨みました。スタートはワクワクしていたのですが、ロンドンのコースは石畳で走りにくいうえに大雨の後で冷えてきて、精神的にも疲れが出てしまい、結果は16位に終わりました。

—その後も世界的なレースに出場しながら、結婚して出産も経験されました。

産後4カ月くらいから徐々に体を動かして始めました。今はオリンピックに出たい気持ちよりも、まずは元気に楽しく走りたい。気持ちを途切れさせないためには何より練習ですね。とにかく走りたい。走るのが好きなのです。楽しんで走っている姿を皆さんに見てもらいたいし、走る楽しさを伝えたいですね。



第32回大会、4区で区間新記録 (当時) を達成



●木崎 良子 さん

京都府与謝郡与謝町出身。宮津高校から佛教大学へ。大学在学中に女子駅伝のレギュラーメンバーになる。長距離走・マラソンを専門とし、卒業後はダイハツ工業所属。2012年、ロンドンオリンピック代表。2013年、世界陸上モスクワ大会4位入賞。2014年、仁川アジア競技大会銀メダリスト。

第37回大会 (2019年) highlight //



号砲と共にスタートする選手たち



熾烈な1区、区間賞で制したのは長崎・廣中選手



中学生からお姉さんランナーにタスキを渡す第3中継所



白川通跨線橋でトップを争う京都と愛知



7人抜きの走りを見せた東京・新谷選手



優勝アンカーの愛知・鈴木選手は2020東京五輪マラソン代表に

女子駅伝を支える人たち 凛とした走る姿にファンも多い「平安クイーンズ」

女子駅伝で、選手たちを先導する白バイは2台。京都府警交通機動隊にある「平安クイーンズ」のメンバーです。前大会で先導を務めた大島梨紗さんと向井萌佳さんに御苦労などをお聞きました。



大島さん



平安クイーンズは女性9名で構成されています。経験者と初心者が二人一組で先導し、沿道側を初心者、中央を経験者が走ります。私は昨年が4回目。バイクは1300cc、重さは約350キロ。速度は15キロ〜12、13キロ。これで42.195キロを走ります。白バイとランナーは30m離れるのが鉄則です。



私は前回が初めてです。緊張しっぱなしでしたが、選手と同じ舞台を走る気持ちで先導しました。私たちは選手の邪魔にならないようにしながら、コースを走りやすく、安全にすることが一番の役割。また、2台がきれいに揃う、美しい走りも平安クイーンズの誇りです。



向井さん

✓ 女子駅伝の基礎知識

●駅伝とは

駅伝は日本独自の長距離リレー競走です。1917年に初めて大会が開かれ、京都・三条大橋—東京・上野不忍池間の約500キロを約3日間かけて走りました。全国女子駅伝は1983年にスタートしました。

●ルールについて

全国女子駅伝では、フルマラソンと同じ42.195キロを9区間に分け、9人で走ります。3区と8区は中学生が、最低3区間以上は高校生が、それ以外は大学生、社会人が走るなどのルールがあります。自分の出身地の都道府県に参加できる「ふるさと選手制度」もあります。

●女子駅伝が育んだもの

同じチームの中に、中高生の若い世代の選手と、世界大会で活躍するトップアスリートが混在し、たすきをつなぐこの大会は若い選手にとっては憧れの舞台となっています。2大会連続のオリンピックメダリストである有森裕子さんをはじめ、女子駅伝から世界へ羽ばたいていった選手は多く、今も、これからも夢を育む舞台です。

全国各地で行われる女子駅伝大会 schedule

2019年	10月27日	全日本大学女子駅伝対校選手権大会 「杜の都駅伝」(宮城・仙台)
	11月10日	東日本女子駅伝 (福島)
	11月24日	全日本実業団女子駅伝 「クイーンズ駅伝」(宮城)
	12月15日	全国中学駅伝 (滋賀・希望が丘)
2020年	12月22日	全国高校駅伝 (京都)
	12月30日	全日本大学女子選抜駅伝 「富士山女子駅伝」(静岡)
	1月12日	皇后盃全国都道府県対抗女子駅伝 「全国女子駅伝」(京都)

駅伝の
クライマックスを
飾ります

ミニトリビア

全国女子駅伝のたすき用フィニッシュテープは、京都の伝統工芸・西陣織で作られています！

